



修繕費

**2023年2月6日
沖縄電力株式会社**

- 修繕費用は、法令に基づく定期点検、保安のための自主点検、ならびに検査・診断等に基づく故障部品の取替や補修に係る費用を積上げて算定しています。
- 火力設備においては新規電源開発等の影響により現行原価から増加し、業務・その他設備においては現行原価を2008年全系原価から2016年託送原価を差し引いて算定している影響により減少しており、全体で申請原価は現行原価と比べて約533百万円減の7,984百万円となっています。
- 修繕費率は、「みなし小売電気事業者特定小売供給約款料金審査要領」において、メルクマールとして例示されている自社の過去実績以下となっています。

■ 申請原価・現行原価の比較

（単位：百万円）

	申請原価① (2023~2025平均)	現行原価② (2008)	差 引 (①-②)
火 力	7,925	6,392	1,533
業 務	59	292	▲ 233
そ の 他 ※	—	1,833	▲ 1,833
合 計	7,984	8,517	▲ 533

※現行原価を2008年全系原価から2016年託送原価を差し引いて算定している影響に伴う、火力・業務設備以外の修繕費に係る差異。

【算定の考え方】

申請原価は、非NW全体の費用から調整力供出分を控除し算定。

■ 効率化の取組み

項目	取り組み内容	3ヶ年平均
点検周期、数量、単価、発注方法の見直し	・安定供給を前提に、設備の劣化診断の結果等を踏まえた修繕工事の抑制、点検周期の延伸化	▲ 654百万円

■ メルクマールとの比較

（単位：百万円）

	申請原価期間 (2023~2025平均)	メルクマール (2016~2020)
平 均 修 繕 費 ①	9,540	9,187
平 均 帳 簿 原 価 ②	467,164	449,547
平均修繕費率※①/②	2.042%	2.044%

※修繕費率は調整力分を含む非NW全体の費用で算定

【メルクマール算定期間を2016~2020年とした理由】

- ・2021年度は、新型コロナウイルスの影響により、外国メーカー製である吉の浦火力発電所(当社最大出力機)の定期点検に必須となる外国人技術者(数十名程度)の入国が禁止となったことに伴い、工事完了が2022年度へ繰り延べとなった。
- ・その結果、2021年度の火力修繕費は特異的な水準となることから、実績算定期間を2016~2020年とした。